

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ：環境と人間の健康の関わり

授業の到達目標：リスクアナリシスの基本的方法を説明できるようになるとともに、人間と環境との関わりについて考察し、問題提起ができることを目標とする。この目標は、DPの幅広い視野に立って精深な学識を形成することに関連する。

授業の概要：環境中の物質は、人間の健康や生活、生態系に様々な経路で影響を及ぼしている。健康な生活を営むためには、環境の物質を適切に評価し、社会として必要な対策を取ることが求められている。その手法としてリスクアナリシスがある。食品、水銀、ダイオキシンといった環境物質を具体的に取り上げて、リスクアナリシスの基本と実際を学ぶ。

【授業計画】

- ① リスクアナリシスの概要
- ② リスクアセスメントの方法
- ③ リスクマネジメントの方法
- ④ リスクコミュニケーションの方法
- ⑤ 日本における食品のリスクアセスメント
- ⑥ 日本における食品のリスクマネジメント
- ⑦ 日本における食品のリスクコミュニケーション
- ⑧ 日本における水銀のリスクアセスメント
- ⑨ 日本における水銀のリスクマネジメント
- ⑩ 日本における水銀のリスクコミュニケーション
- ⑪ 日本におけるダイオキシン類のリスクアセスメント
- ⑫ 日本におけるダイオキシン類のリスクマネジメント
- ⑬ 日本におけるダイオキシン類のリスクコミュニケーション
- ⑭ 環境と人間の関わりについてのまとめ

履修者に合わせて、取り上げる項目や時間配分を変更することもある。

【授業外学習】

配付資料や指示した関連文献を事前に読んで、概要を把握し、疑問点や問題点を整理して、討論に参加できるように準備すること。週 200 分程度の自修が必要である。

【成績評価の方法・基準】

討論への参加状況（50%）とレポート（50%）で、リスクアナリシスについての理解と、環境と人間の関わりについての考察における論理展開で評価する。

【教科書】

随時、資料を配付する。

【参考書】

特になし

【教材】

特になし

【備考】

特になし